



以上

配布用

2022.6月期へ向けた戦略 立案 実践

過渡特需対応ではなくPSSが世界に羽ばたくための4大テーマ

Precision System Science Co.,Ltd.

2022.03.11



4大テーマとして

1. COVID-19対策として取り組んだ魅力ある製品の完成
→ 世界に向けた広告/明解な資料作成
2. w/wディストリビューション体制構築
PSSブランドオリジナルシステム
多様な遺伝子検査PCR試薬項目の有効な品揃え
3. 製品量産体制構築
PSSコンセプトである試薬カートリッジ工場設立
協力企業による各種機器連携量産体制構築
4. 社会貢献に繋がる検査施設の設立
PSS新宿ラボラトリー/サテライト

1. COVID-19対策として取り組んだ魅力ある製品の完成



これら製品群の販売促進のために、広告戦略や明確な技術説明資料の作成、説明ムービーの作成など、また、外部ブレーンも最大限活用して進めていく。

2. w/wディストリビューション体制構築

実績

- geneLEADVIII (PSSブランド製品)
- エリートインジニアス (geneLEADXII)
+ヨーロッパPCR試薬メーカーとの業務提携成功
- ワールドワイドに1000台以上のシステムが50数か国以上で
高い評価を受け、特需となった



PSSブランド ワールドワイド
ディストリビューションネットワーク構築の絶好のチャンス

ヨーロッパ、日本、中国などのPCR試薬企業と提携や協議の開始

3. 製品量産体制構築 PSSコンセプトである試薬カートリッジ工場設立



大館試薬センター第2工場 W/Wの需要にも対応可能

■ 今後の遺伝子検査の拡大を視野に試薬カートリッジ工場、
機器生産ラインの拡張計画を実施

4月21日竣工予定



■ さらに協力企業による各種機器連携量産体制構築

4. 社会貢献に繋がる検査施設の設立



PSS新宿ラボラトリー

“小さくても本格派”

ジーンリードエイト自社開発検査機を活用した検査センターをスタート

- 農工大の協力のもと実状を把握
- 10%を超える陽性率は驚異的 → **さらなる対策が必要**
今後の重篤感染症を徹底して抑え込む



ジーンリードエイト6台をパソコン1台にてデータ管理

PSS新宿サテライト

配布用

PSS第37期第2四半期 決算説明会



2022年3月11日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

STRICTLY PRIVATE AND CONFIDENTIAL

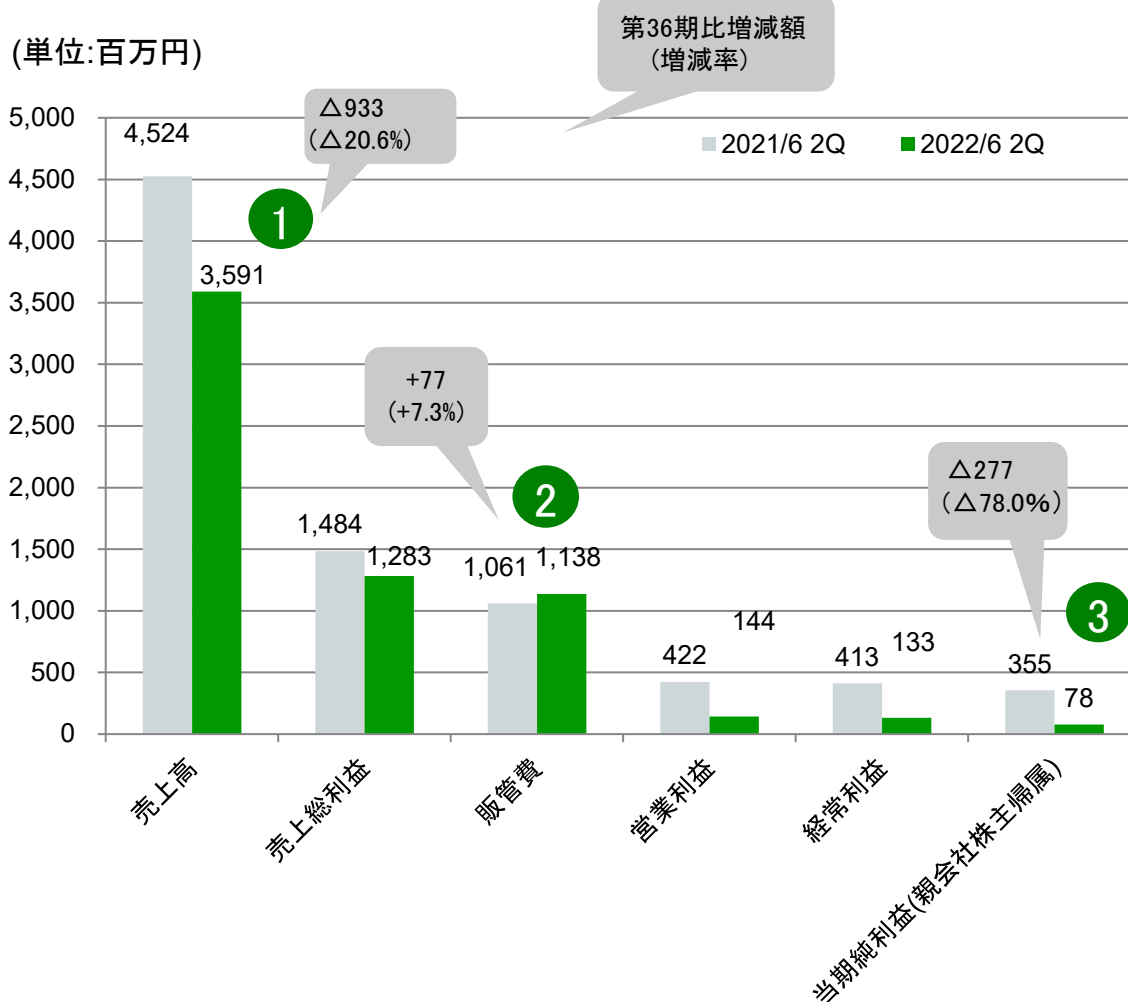
© PSS

1. 第37期第2四半期決算と第37期通期の見通し
2. 第37期第2四半期の活動

1. 第37期第2四半期決算と第37期通期の見通し

第37期(2022/6)半期 連結業績

■ 連結業績は、前期比減収となりました。



◆ 第37期(2022/6)業績比

- ✓売上高の減収

当第2四半期連結累計期間は、売上高は3,591百万円(前年同期比20.6%減)、売上総利益は1,283百万円(前年同期比13.5%減)となりました。前年同期比減収減益の結果ではあったものの、国内販売の自社ブランド及びエリテック社向けOEM製品である全自動PCR検査装置用途とDNA自動抽出装置用途の試薬・消耗品及びメンテナンス関連の販売は順調に推移しました。
- ✓販管費は前期比増

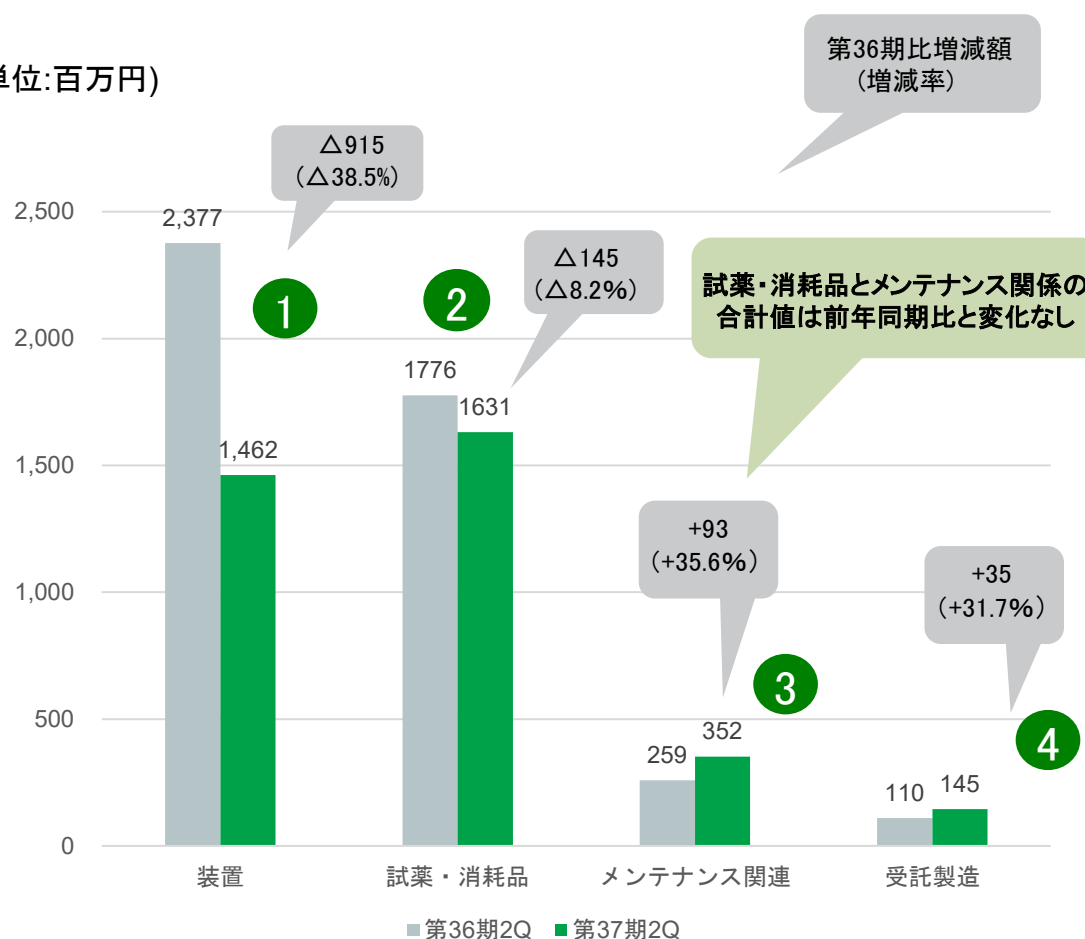
研究開発費は製品応用開発費用の一巡もあり233百万円(前年同期比28.4%減)と減少しましたが、自社製品販売活動費や人件費の増加等により販売費及び一般管理費は、1,138百万円(前年同期比7.3%増)となりました。
- ✓親会社株主に帰属する四半期純利益の減少

繰延税金資産の取崩しなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、78百万円(前年同期比78.0%減)となりました。

第37期(2022/6)半期 構成別売高

- 国内販売の自社ブランド及びエリテック社向けOEM製品である全自動PCR検査装置用途とDNA自動抽出装置用途の試薬・消耗品及びメンテナンス関連の販売は順調に推移しました。

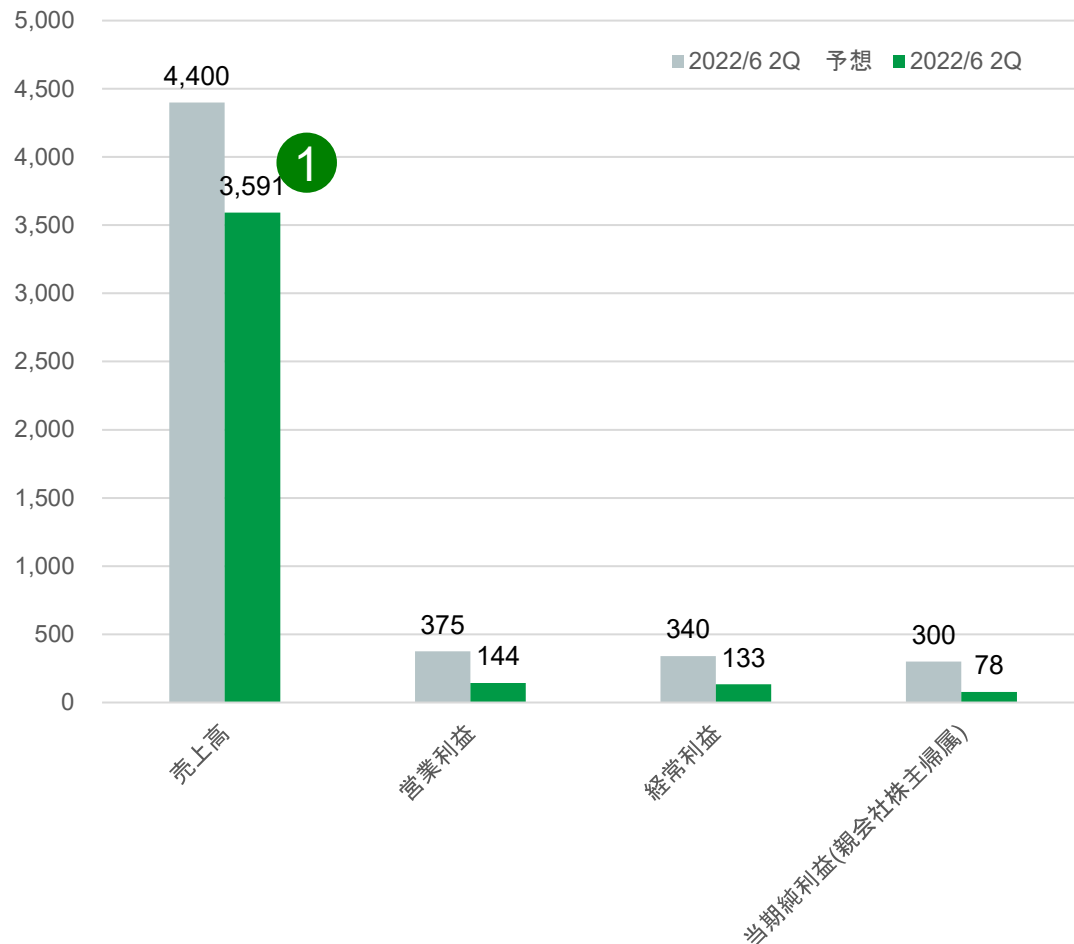
(単位:百万円)



- | | |
|---|--|
| 1 | ✓装置
当第2四半期連結累計期間は、売上高は1,462百万円(前年同期比38.5%減)となりました。減収の要因は、前期国内販売向け及びエリテック社向け全自動PCR検査装置の販売が大幅拡大した反動によるものです。 |
| 2 | ✓試薬・消耗品
当区分は、当社装置の使用に伴い消費される、DNA抽出及びPCR検査用の試薬や反応容器などの専用プラスチック消耗品の区分であります。 |
| 3 | ✓メンテナンス関連
当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ(交換部品)販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。 |
| 4 | ✓受託製造
子会社の製造工場であるエヌピーエス(株)が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。区分は、エヌピーエス(株)の収益確保のための事業となっています。 |

第37期(2022/6)半期 当初業績予想対比

(単位:百万円)



✓減収減益の修正

全世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」迅速確定検査の需要に対応するために、前期2020年8月に国内販売を開始した自社ブランド製品及びエリテック社向けOEM製品である全自動PCR検査装置販売(geneLEADシリーズ)が前期の当初見込みより大幅拡大し、その反動により売上減少となる見通しでしたが、これが(2021年8月13日公表)2022年6月期第2四半期(累計)連結業績予想で見込んでいた反動よりも大きかったことによるものです。

2022年6月期通期連結業績予想について

2022年6月期第2四半期(累計)連結業績予想を減収減益に修正したことは、2022年6月期通期連結業績予想に影響を及ぼすものと考えているものの、現状のコロナ禍における世界的に急速に拡大するオミクロン変異株の感染状況により、全自動PCR検査装置(geneLEADシリーズ)及び試薬・消耗品等の新たな引き合いを鑑みた今後の受注状況並びに「PSS新宿ラボラトリーの(無症状者向け)東京都PCR等検査無料化事業登録申請」による新規事業による収益面と販売促進活動並びに量産設備投資による減価償却等の費用面の予算計画を精査しており、遅くとも2022年6月期第3四半期(累計)連結業績発表までには、当初(2021年8月13日公表)「通期連結業績予想」の修正の必要性が確認された時点で適時に情報開示をいたします。

2. 第37期第2四半期の活動

「東京都PCR等検査無料化事業」による社会貢献 ～東京農工大学、小金井市との共同事業、医療機関との連携～

■PSSと東京農工大学と小金井市、農工大キャンパス内にて 東京都PCR等検査無料化事業を開始

2022年2月より「東京都PCR等検査無料化事業」への事業者登録を行い、東京農工大学 小金井キャンパス内にて検査事業を開始しました。



報道関係者 各位

2022年2月18日

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
国立農工大学
小金井市

PSSと東京農工大学と小金井市
農工大キャンパス内にて
東京都PCR等検査無料化事業を開始

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（以下 PSS、所在地：千葉県松戸市本郷 88 番地）と国立農工大学（本部：東京都府中市曙町 3 丁目 8 の 1）、小金井市は、「COVID-19」に關しての「東京都 PCR 等検査無料化事業」への登録が完了し、2/21（月）9：30 より期間満了にて東京農工大学 小金井キャンパス内にて「東京都 PCR 等検査無料化事業」を開始します。また、当事業に關しまして小金井市ホームページを通じて小金井市民を含む市民の皆様へ情報提供を行います。

当事業では、東京農工大学との共同研究により PSS が開発した核酸抽出からリアルタイム PCR を自動化した「genoLEAD システム」を用いることで、「COVID-19」の迅速な診断を行います。

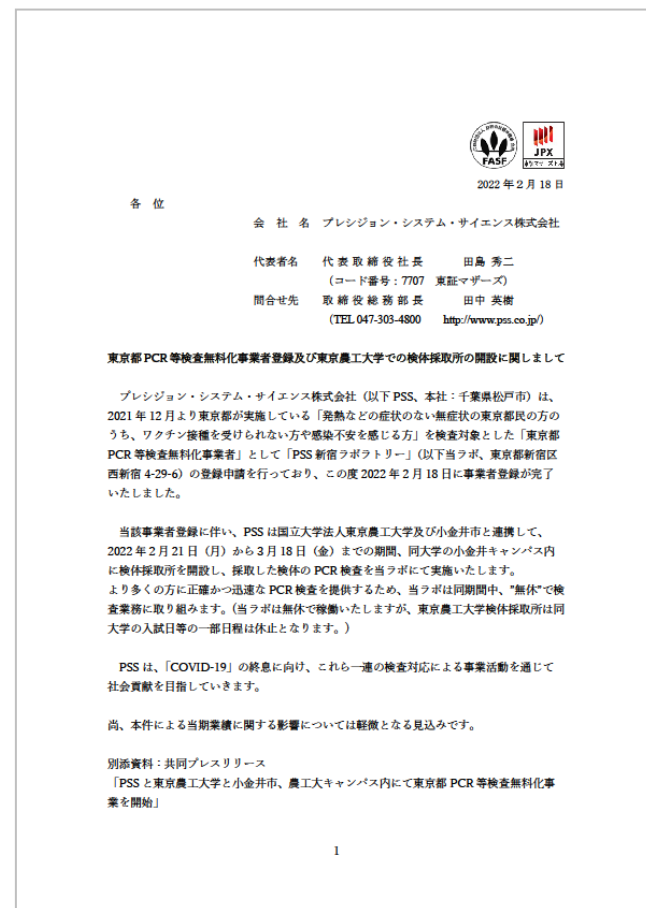
参考：新型コロナウイルス「COVID-19」の迅速診断が可能に
-自動 PCR 検査システム活用による、世界に先駆けた技術開発-
https://www.tuat.ac.jp/outline/disclosure/pressrelease/2019/20200310_01.html

「東京都PCR等検査無料化事業」による社会貢献

～東京農工大学、小金井市との共同事業、医療機関との連携～

■汐留ガーデンクリニックにおける東京都PCR等検査無料化事業の提携

2022年2月より「東京都PCR等検査無料化事業」において、事業者であります汐留ガーデンクリニック（東京都港区東新橋1-8-2 カレッタ汐留B1F）とPCR検査実施者としての提携を行いました。この提携によりPSSは医療機関と提携することにより、「東京都PCR等検査無料化事業」において、もし万が一の陽性の結果を通知する場合にも、迅速な医療診察や陽性患者フォロー（健康観察・治療薬投与）を受けられるような段取りを取りました。



PSS新宿ラボラトリーの開設・BtoB事業の開始

正確かつ高精度なPCR検査を「いつでもどこでも誰でも受けることができる体制の構築」を目指し、「PSS新宿ラボラトリー」(東京都新宿区西新宿4-29-6)を開設し、BtoBでの自費検査の受託を開始しました。



日本取引所グループ 新市場コンテンツページにてPSSが掲載されました

日本取引所グループ 新市場コンテンツページにて千葉県代表としてPSSが掲載されました。

<https://jpx-market.jp/column/12732/>

新市場区分、始まる

JPX



あろーすくんの
全国上場会社の旅

PSS
bio system net.

千葉県

【千葉県】「いつでもどこでも誰でも、正確かつ迅速なPCR検査の実現による社会貢献を目指して」コロナ禍を機に、遺伝子検査をもっと身近に

2020.03.04

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長 田島 長

GROWTH
TOKYO

「いつでもどこでも誰でも、正確かつ迅速なPCR検査の実現による社会貢献を目指して」
コロナ禍を機に、遺伝子検査をもっと身近に
—千葉県— プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

Share

全自動PCR検査装置の普及速度が倍増

——新型コロナウイルス感染症（covid-19）への対応で、ずっとご多忙だったと思います。直近の事業の状況について、まずお聞かせください。

田島社長 当社が製造する全自動PCR検査装置は現在、国内で自社販売する「geneLEAD（ジーンリード）」と、エリテック社（フランスのバイオ医薬品企業）へのOEM（他社ブランド向け製造）として50カ国以上に供給した製品を合わせて、販売累計が千数百台に達しています。コロナ禍の前後で比べると、普及のペースは2倍近く速まりました。



私たちの装置を使ったPCR検査では、鼻咽頭ぬぐい液や唾液といった検体からウイルスの遺伝子を抽出して測定するために、2種類の試薬を使用します。このうち測定用の試薬はエリテック社他数社が提供していますが、抽出用の試薬については当社が、検査装置本体やブレパックされたカートリッジ形状の試薬などの消耗品とともに秋田県の自社工場で生産し、国内外に供給しています。

自動で機械的に検査できるよう、抽出用の試薬は、手順ごとに用いる液剤を順番に並べて封入した、長さ約25cmのカートリッジ式にしています。コロナ禍以降、この試薬への需要が急増し、生産が追いつかなくなりました。そこで現在、国の補助も得て第2工場を建設中で、今年6月までに本格稼働開始を目指しています。

——covid-19に関しては、流行の時期や規模など、予測の難しい要素も多い気がします。そうした中、新たに工場を設けることを決断できたのはなぜでしょうか。

本日は、PSSの事業説明の機会を頂きまして、誠に、ありがとうございます。
今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2022年3月11日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL: www.pss.co.jp

(お問い合わせ)
電話: 047-303-4800
メール: ir@pss.co.jp